

齋藤町長の

スマイルトーク

ばんげの季節の風物詩 祭り



残暑ひときわ身にこたえるこの頃ですが、暦上では既に秋であり、徐々に秋の風が吹き始める頃であります。季節が移り、町の季節を彩る祭りも移り変わります。

最近ですと、8月5日にばんげ夏まつりが開催されました。多くの方々に参加していただき、関係機関各位の力で猛暑に負けず劣らずの熱い一日となりました。毎年恒例の流し踊りと夜空に咲き誇った盛大な花火で、町中心街に賑わいと活気をもたらされました。祭りは地域の元気の源に繋がります。

また、9月には秋まつりが開催されます。各自治会の方々の山車製作への強い熱意や様々な工夫により、町に活気と子供たちの笑顔が生まれます。更に冬には初市・大俵引きなど、季節ごとに更なる魅力ももたらす祭りを今後も絶やさず、後世に繋いでいきたいものです。



左より) 木戸匠くん、名須川琉くん、佐藤光汰朗くん、菅家伊織くん

わんぱく相撲全国大会に出場

坂下南小学校・坂下東小学校の児童4人が出場

7月19日、坂下東小6年の木戸匠くん、坂下南小5年の名須川琉くん、坂下南小4年の佐藤光汰朗くん、坂下東小4年の菅家伊織くんが「わんぱく相撲全国大会」への出場報告に町役場を訪れました。

4人は、6月に開催された県ブロック大会で上位入賞を果たし、全国大会への出場権を得ました。

「自分の相撲を取りたい」、「優勝目指して頑張ります」と力強く抱負を語りました。



鶴沼球場にて福島ホープスが公式戦

会津坂下町サンクスデー 福島ホープス vs 武蔵ヒートベアーズ

7月22日、鶴沼球場にてルートインBCリーグ公式戦が開催されました。岩村明憲監督率いるプロ野球球団福島ホープスが武蔵ヒートベアーズと対戦し、9対3で快勝しました。

試合終了後には選手による野球教室が開催され、会津ボーイズなどの野球チームの子どもたちが指導を受けました。



小学校水泳記録会を開催

坂下南小学校・坂下東小学校・西会津小学校6年生が参加

7月23日、ばんげひがし公園町民プールにおいて水泳記録会が開催されました。参加者は坂下南小学校77名、坂下東小学校59名、西会津小学校37名の計173名で、自由形など様々な競泳でスピードを競い合いました。また、女子50mバタフライでは生江笑結さん(坂下南小)が37'76秒で大会記録を更新しました。



林出豊信さん



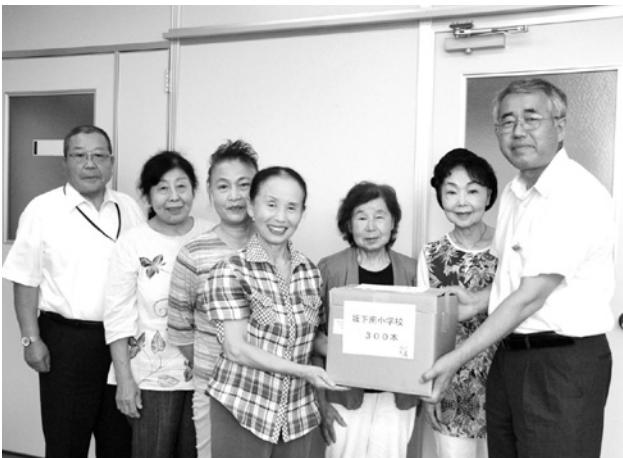
左より) 日下副町長、齋藤町長、横山源栄さん、佐藤久恵さん、高波和廣さん、林出豊信さん

固定資産評価審査委員会委員に林出豊信さんを選任

固定資産評価審査委員会は、固定資産税の課税価格の不服の申し立てについて審査を行う機関であり、3名の委員で構成されています。

その委員の一人の横山源栄さん(中政所)が6月30日で任期満了となり、後任に林出豊信さん(八日沢)が選任されました。

7月25日には、退任となる横山さんに感謝状が町長から手渡されました。また、同日第1回の委員会が開催され、新委員長に佐藤久恵さん(新栄町)、その職務代理者に高波和廣さん(中村)が選任されました。



町内教育機関・各地区コミュニティセンターへタオル贈呈

会津坂下町老人クラブ連合会女性部 様

7月4日、同クラブ連合会女性部により1,163本のタオルが寄贈されました。山内聖子会長は「老人クラブの皆さんに呼び掛けて集めたタオルです。清掃の大切さを改めて感じてもらえたらよいですね。」と述べられました。タオルは1,080本を保育所・幼稚園・小学校・中学校へ、83本を各地区コミュニティセンターへ贈られ、日々の掃除などに活用されます。



小学校児童に交通安全グッズなど寄贈

(株)あいづダストセンター 様

6月29日、同社が訪れ、横断歩道用反射ストップマーク60枚、キャラクター反射材ライト300個が寄贈されました。ストップマークは町内の小学校の児童が安全に通学できるよう通学路に設置されます。また、ランドセルやかばんに付ける反射材ライトは低学年の児童に配布されました。



▲反射材ライトとストップマーク



7/7 ミズベリング「水辺で乾杯」



7/15 魚つかみ大会

道の駅あいつ 湯川・会津坂下 で夏のイベントを開催!

ミズベリング・魚つかみ大会・水合戦でひと時の涼を楽しむ

ミズベリングとは、「水辺+RING (輪)」、「水辺+R (リノベーション) +ING (進行形)」の造語で、水辺とまちが一体となった美しい風景と新しい賑わいを生み出す取り組みです。この日は道の駅あいつにおける、かわまちづくり計画のキックオフイベントとして、参加者全員で乾杯しました。七夕の飾り付けも行われ、短冊に願いを込めていました。

また、同会場では会津坂下町発祥のニュースポーツ「水合戦」が行われ、参加者たちは水玉をぶつけ合い頂点を競いました。当日は35度を越える猛暑日で、まさに「熱い戦い」が繰り広げられました。

その他、敷地内の池にはニジマス1,000匹が放流され、「魚つかみ大会」も行われました。子どもたちは普段触れ合う機会の少ない生き物を観察したり、捕まえたりと貴重な体験を楽しみました。



7/15 水合戦



姉妹都市 埼玉県北本市で町物産特設ブース開設

8月2日より JA さいたま直売所「桜国屋」にて開催

桜国屋に会津坂下町の特設ブースが開設され、町の名物の味噌や醤油、季節のくだものなどが販売されています。特設販売は今年で2回目の開催となり、2月28日までの期間で新米やもも、りんご、会津みしらず柿などが届けられます。

町では、今後も北本市をはじめとした首都圏などで物産振興に務めてまいります。



五浪美術記念館ワークショップを開催

小学生がもう1人の自分を描く

五浪美術記念館で絵画展を開催中の高橋克幸さんを講師に迎え、7月31日、小学生への絵画指導が行われました。子どもたちは「もうひとりの自分を描く」ため大きなキャンバスに自分の型を取りました。高橋さんは子どもたちに、どんなものが好きか、どうやって表現するかなどを語りかけ、子どもたちは思い思いの方法で絵画によって自分を表現していました。



サマー・パーティ開催

ばんげでカップル3組誕生

出会いの場創出事業実行委員会は、7月22日八幡コミュニティセンターにてサマー・パーティを開催しました。

手巻き寿司作りや回転トークなど、打ち解けた雰囲気の中で会話がはずみ、終始和やかなパーティとなり、23名の参加者中、カップルが3組誕生しました。



福島県消防操法大会 両沼地方予選会開催

会津美里町宮川河川敷消防操法場で7チームが出場

7月29日、7町村の団員が一堂に会し、2つの競技で正確性や安全性、スピードなどを競いました。団員たちは小型ポンプやホースを巧みに操り、炎と見立てた的に正確に放水を行い約3ヵ月におよぶ練習の成果を発揮していました。会津坂下町消防団は小型ポンプ操法で3位、ポンプ車操法の部で4位の成績を収めました。



中央公民館で「夏休みわくわく企画」を開催

『ももたろう』のきびだんご作りに挑戦

7月24日に、小学生を対象とした「読み聞かせ」「クッキング」「学習」を行う「夏休みわくわく企画」を中央公民館で開催しました。ばんげ読み聞かせの会の方に、歌を交えながら『ももたろう』を読んでもらった後、話の中に出てくるきびだんご作りに挑戦しました。調理は、メロンの会の皆さんにご協力いただき、子どもたちは「きび」を丸めるのに苦戦していましたが、最後は、さつまいもあんのもちもちとしたきびだんごをおいしそうにほおぼっていました。また、夏野菜がたっぷり入った冷やしそうめんも自分たちで作り、苦手な野菜もしっかり食べることができました。



中央公民館では、今後も食育推進のため「子どもクッキング教室」を開催予定です。ご参加をお待ちしています。

開催日 9月24日(月・祝) 小学1・2年生対象
 11月23日(金・祝) 小学生と保護者対象 親子クッキング
 12月26日(水) 小学3～6年生対象



新着本の紹介

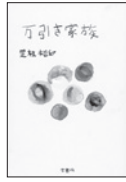
『これからは稼ごう：
仮想通貨と未来のお金の話』



堀江貴文／著
徳間書店

一般書

『万引き家族』



是枝裕和／著
宝島社

一般書

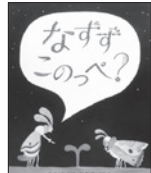
『下町ロケット ゴースト』



池井戸潤／著
小学館

一般書

『なずくこのっぺ?』



カーソン・エリス／さく
フレーベル館

児童書

『すごいね!みんなの通学路』
(世界に生きる子どもたち)



ローズマリー・マカーニー／文
西村書店

児童書

『ぼくとベルさん：友だちは
発明王』(わたしたちの本棚)



フィリップ・ロイ／著
PHP研究所

児童書

坂下中学校図書担当 武藤麻実先生が選んだ
わたしがオススメする1冊



『かがみの孤城』

辻村深月／著
ポプラ社

今年全国の書店員が選ぶ本屋大賞（本当に売りたい本）受賞作です。主人公の安西こころは、いじめを受けて学校に行けなくなった中学1年生。ある日、自室の鏡が光り、狼の面をつけた少女がいる城へ導かれます。そこには、同じように学校に行っていない6人の中学生。7人は一つだけ願いを叶えられる鍵を探し始めます。城とか鍵とか、一見ファンタジーのようですが、物語の後半からはミステリーのような驚きの展開が待っています。子供はもちろん、かつて子供だった大人も十分に楽しめ、感動できる物語です。

町史編さん

調査余話 (14)

「カクマ」という地名

先月号で、勝方村の「カクマ」という言葉が葉草でもある黄連や、また、ヤマドリゼンマイやリョウメンシダの方言名であることを述べましたが、地名にもカクマの名が見られます。

日本国語大辞典では「(河隈かわくまの意か) 水辺の称。東日本の地名に多くみられ、角間、河熊、鹿熊などの文字をあてるものが多い。」とあります。水辺の総称として、ヤマドリゼンマイやリョウメンシダは湿地性の植物なので合致します。

会津の例としては、数多い熊野神社のうちでも会津熊野三社の新宮(喜多方市慶徳町新宮)、本宮(喜多方市上三宮町岩沢)、那智宮(喜多方市熱塩加納町津野)は会津の熊野信仰の中心のひとつと考えられています。宇津野の宇藤滝は熊野那智社の本地仏である観音を補陀落浄土へと導く善知鳥(ウミスズメ・海鳥)が飛来したことに由来するとい

われ、近くに鹿熊の地名があります。新宮の隣、慶徳町豊岡の慶徳稲荷神社の山号は香隈山で、背後の山の字地名が香隈です。

磐梯町更科布藤にも角間があります。植生的にも平野部でなく山間部湿性に群生し、山は動植物など人に大切な食糧を生産するところで、山岳信仰に結びつく気配を感じさせます。

想像の域を出ませんが、葉草でもあることからか、その群生地を持つ地域の神社寺院に山号や由来に登場するので、神信仰が地域に進出する拠点となった理由があるように思えます。

こうしたことを合わせ考えると、勝方に麓山神社や薬師堂が祀られた背景には、古民間信仰の姿が見え隠れしているようにも思われます。



▲勝方の薬師堂

▼問い合わせ

町史編さん室

☎ 83-3010